

令和6年度 下水道維持管理業務取組み発表会

発表概要

所属 遠賀川下流浄化センター
発表タイトル バーコードを活用した完成図書の管理の効率化
取組の目的 書庫、中央操作室及び倉庫に保管されている図書は、近年更新工事における冊数の増大による空きスペースの不足や、管理が充分に行き届いていないことにより貸出・閲覧時に手間を要したりと様々な問題を抱えている。そこでバーコードを用いて図書の管理をデータベース化し活用することで、使用時における検索時間の短縮や分散保管による業務効率化を図ることを目的とする。
取組内容 <p>The flowchart illustrates the book management process in five stages, each with a list of activities and a corresponding box:</p> <ul style="list-style-type: none">Stage 1: Activities include ensuring empty space and installing bookshelves. The box is "保管増設箇所を選定" (Select storage expansion locations).Stage 2: Activities include an initial investment of approximately 5 million yen and purchasing barcode readers, tape, and protection seals. The box is "物品購入" (Purchase items).Stage 3: Activities include subdividing shelves and using barcode readers to tag books. The box is "棚の場所及び書籍をバーコードに紐づけ" (Link shelf locations and books to barcodes).Stage 4: Activities include creating barcodes using Excel and generating lists. The box is "書籍管理システム、バーコード作成" (Create book management system and barcodes). <p>Below the flowchart, a process flow diagram shows the steps: 入庫 (Inventory) → 仕分け (Classification) → 保管 (Storage) → 検索 (Search) → 貸出・閲覧 (Lending/Viewing). The "仕分け" step is crossed out with a red 'X', indicating it is no longer necessary.</p>
取組成果・効果 ・外部への貸出及び返却が簡便化された。 ・初期作業の場所及び書籍の紐づけには時間と労力を要した。(20年分約1300冊) ・書籍のデータベース化を行ったことにより、重要な資料であるが負担になっている紙ベース資料の陳腐化を防ぐことができ、財産として価値を見出せるようになった。 ・保管場所と書籍を紐づけすることにより「どこに・何が」あるのかを把握できるため、仕分けをする必要がなくなった。結果、空きスペースと時間の確保ができ、必要なものは近くの棚に、使用頻度の低いものは遠くの棚に保管可能。また、入替についても誰でも容易に作業可能である。